

第2回予算監視・効率化チーム会合 議事概要

日時：平成22年8月26日（木）13:00～13:50

場所：国土交通省省議室

（チームリーダー挨拶）

皆様方には、行政事業レビュー等の様々な業務の見直しにつきまして、ご尽力頂き心から感謝申し上げます。

本日は、行政事業レビューの結果の平成23年度予算概算要求への反映状況、支出負担行為又は支出に関する計画の執行状況、緊急経済対策の進捗状況につきまして、ご議論頂くことになっております。

こうした業務の見直しについて、我が省におきましては他省と違い、有識者の方々にアドバイザーとして参加して頂くだけでなく、事務局の一員としても運営にも深く関わって頂きました。その意味では、公開プロセスも含め、大変意義のある、大変活力のあるご議論を頂けたと思っております。

今後も、先生方の力を頂きながらしっかりと省が自ら自己変革を遂げられるよう、皆様と一緒に進めて参りたいと思っております。

（事務局より資料について説明）

（主な質疑等）

〈行政事業レビュー関係〉

- 行政事業レビューの結果である概算要求の反映額506億円というのは、見直しを受けて削減した額ということか。
- 基本的にはその通り。平成21年度の事業をレビューしているので、平成22年度に措置済となっているものもありますが、今回は、平成22年度から平成23年度にかけて、廃止したものは廃止額を、事業の縮減をしたものは縮減額を計上している。また、重点化を図る、入札契約方式を見直すなどの予算額としてカウントできないものは、反映額にカウントされていない。
- 新しい政策をやっていくというところがポイントであって、削減額に

ポイントを置いているわけではなく、成果を即効性があるような形で使ってほしい。金額よりも我々が指摘しているコメントこそを重視して欲しい。

- おっしゃるとおりだと思う。新しい事業については政務三役のご指導の下やっているところであり、ご指摘の点について留意してやっていかないといけないと思っている。

〈支出計画関係〉

- 支出計画の下請建設企業支援補助金の執行状況について、現状を考えると下請建設業の倒産が増えていると思うが、見込みが少なかったというのは、昨年よりは少なかったということか、相対的に予算計上が高かったということか、あるいは倒産件数の絶対数が少なかったということか。
- 本補助金は、新しい仕組みで昨年の例はないが、支出見込みよりは少なかったということである。
- 支出計画の道路交通円滑化推進費で計画にない月に支出があった理由は何か。
- 高速道路無料化実験の経費であり、必要となった交通量を計測する機器の発注を行ったものである。

〈経済対策関係〉

- 経済対策の施策に関する行政事業レビューの状況について分かりやすい資料の書きぶりとした方がよい。
- 経済対策の資料は全省統一様式のため提出した資料の様式となっているが、改善する努力をしたい。
- 住宅融資保険の保険料の引き下げたことで、貸し倒れが増えていないのか。
- 保険料は下げるが、貸し出しには当然金融機関の審査がある。また、貸し倒れは数年たって発生するケースが多いと考える。

以 上